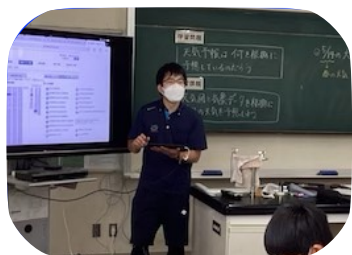


iMovieを使って天気予報動画を作成しよう

子どもたちは「日本の天気の特徴」や「天気予報の方法」について学んできました。数日分の天気図や気象要素のデータをもとに天気を予想し伝えます。iMovieを使用して、天気予報の動画を作成する活動では、「根拠を示して予想する」ことや「何を伝えたいかを明確にする」ことを意識するようにしました。制作した動画を共有し、目当てに沿った評価を友だちからもらい動画の修正をおこなっていきます。



①実際の天気予報や気象予報士の話を視聴して天気予報は何を根拠に予想しているのかを考えました。(第1時)



②天気図・雲画像・アメダスの2日間のデータをもとに、次の日の伊那市の天気を予想し天気予報をプレゼンテーションすることを確認しました。(第2時)



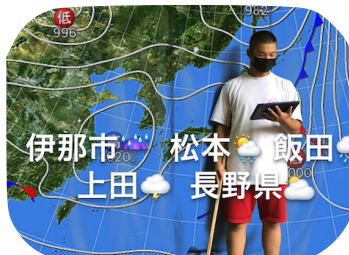
③季節の違う4つのシーンから1つのシーンを選びペアで取り組みます。まず、データから分かることをスクールタクトに書き込みます。(第2時)



④天気予報動画の「予報文」を作成します。予報文は誰に何を伝えるものなのか。予報をした根拠は何かをペアや他のペアと情報交換しながら考えました。文を作ることと理科用語とその意味が理解できるようになります。(第3時)



⑤予報文が完成したペアからスクリーン前で撮影を行います。予想天気図や雲画像などの背景はKeynoteで作成しiMovieで合成をします。(第4時)



⑥制作した「天気予報動画」を発表し良い点や改善点を指摘し合いました。「根拠と予想をわかりやすく仲間に伝える」ことができたか再度考えて制作した動画を修正しました。(第5・6時)

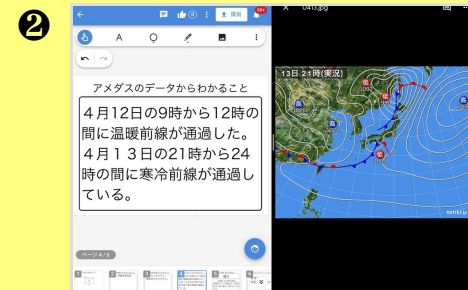
東部中学校 理科 富永渉平 先生の実践をもとに推進センターで編集させていただきました

授業をスムーズに進めるためにこんな準備をしていました

今回の授業では富永先生や生徒たちは様々な工夫をしていました。天気図、雲画像、アメダスデータを2日分4つの季節を準備しました。これらのデータはGoogle Driveのクラスのフォルダ上に置いてありました。生徒はスプリットビューの機能を使って、画像を見ながら気づいた点をスクールタクトに書き込んでいました。



①Google Driveのクラスのフォルダには様々な学習のための素材が入っています。「天気予報をしよう」のフォルダに最初に入れたのは2日間の天気図、雲画像とアメダスの観測データです。授業が進むに従って必要な素材を増やしていきました。



②Google Driveの天気図などのデータを確認しながら、スクールタクトにメモを取ったり、文章を作成したりしていきます。そのときにはスプリットビューの機能を使って2画面にします。ほとんどの生徒が自然にこの機能を使っていました。

画像合成の研修は夏季研修会でも好評！DBで紹介

夏季研修会の講座8では「KeynoteとiMovie」を組み合わせたクロマキー合成の講座が行われ参加した先生方には大変好評でした。

Keynoteの動画化やグリーンスクリーンを使ったクロマキー合成は子どもが喜んでいい作品を作りそうな気がします。「こんな素敵な動画ができるなんて、感激です。」といった感想が寄せられました。当日、残念ながら参加できなかったという先生の為に研修ビデオと研修資料を共有して

います。ぜひ「ICT活用教材DB」内の「09夏季研修会資料」をご覧ください。他の講座についても入れてありますのでご活用ください。



伊那市では、「学校教育情報化ビジョン2021」をもとに、iPadを導入して「ICT活用教育」を推進しています。

伝統的
学びを深めるICT活用

先進的
学びに導くICT活用

「Society5.0」時代の
学びを支える教員

個別最適な学び・対話的学び
創造性を育む学びの実現